

寄稿

2年生になりました 川辺悟史さん

僕は統合失調症です。30歳を迎える今年の春に大学生になりました。僕は自分が引っ込み思案の緊張しやすい性格で初めて接する人とはあまりうまく話せないと自覚しています。大学の入学式前にあった顔合わせの会では案の定同級生になる人達と学年の3分の1を占める留学生ともほぼ話せず先生とばかり話していました。この時は入学してから友達ができるか、孤立してしまわないかの不安と、自分を変える良いチャンスと思う二つの気持ちが同居していました。入学直後に合宿がありカメラで撮影をすることで話すきっかけを作りました。講義が始まると最初のステージは少人数のグループに分かれてのものが多くそんなに緊張はせずにいました。年齢もコミュニケーションの障害になるかと不安はありました。僕の年齢を聞くと最初敬語で固くなることはありました。でも敬語をやめよう、と言うと皆フランクに接してくれました。それでも、4月から6月ぐらいまではお昼は学食で一人食べることがほとんどでした。本当に友達と打ち解けられたのは6月に入ってからで、その頃には何人かの友人と昼食を食べるようになっていました。自分の病気の事も話しました。自分を避ける人も同情する人もおらず友人関係は変わりませんでした。夏もあけ文化祭の時期には友人の数も徐々に増えました。友人とも冗談を言い合えるようになっていました。ただこの時は自分から声をかけられる相手はまだ決まった人で今思うと文化祭をきっかけに自分は少し殻を破り前に進めた気がします。1年が終わる頃には留学生の人とも気軽に話せるようになりました。交友関係が広がるにつれ勉強の面でも助け合えて不安をあまり持たずに済みました。振り返ると1年前はできなかった沢山の事を出来るようになりました。そして自分の心の中にあったのは大学生生活を楽しみたいという思いで、不安があっても大学生生活が本当に楽しかったので休まずに最初の1年を通えたのです。



著者による撮影

コラム風



横須賀上町の灯ろう夜市は10年目を迎えた。NPO法人アンガージュマン・よこすか理事長:島田さんが故宮原茂氏(元上町商盛會理事長 2008年急逝)を偲び追悼灯ろう献上をブログに書いている。ご覧ください。上町商店街の皆様はアンガージュマンを空き店舗対策で支援し商店街イベントを依頼し、「若い人たちがふえるのはいい」と常に背中を押してくれました。この街の先輩諸氏の商魂!生きていく力を受け、今のアンガージュマンがあります。もちろん法人のスタッフや支援者・利用者の生きていく力が根底にあるのですが、この商店街の力を抜きには語れないのです。地域が子ども若者を育てる事実がここにあります。法人は11年、感謝の熱い風を(滝田)

連載 **すぐそこにあること8** 「生きてる人々への課題～篠原さんの講演～」 新舛秀浩

「みんなで考えよう いじめのない社会」に参加し篠原さんの講演を聞きました。

被害者責任論という耳なじみのない言葉が印象的でした。いじめられる方に責任があるという趣旨の言葉です。真矢さんの自死後に学校で「命を大切に」とう特別授業がありました。命を粗末にするなという授業で死んだ者が悪い。というスタンスの授業が行われたようです。もちろん、「生きる」ことは肯定されるべきでしょう。しかし、死を選ばざるを得なかった人々に対して命を粗末にするな=自死の否定すなわち被害者責任論、死んだ人々に責任がある。私は非常に違和感を覚えました。(裏面に続く)



(1面より)私の一つの意見ですが、ある一定の人数を一定期間同じ場所にいると、どうしても人間ですから、好き、嫌いはでるでしょう。そうすると必ず、衝突等が起きるのではないのでしょうか？やはり学校以外の場所、適応指導教室やアンガージュマンのような居場所など選択肢の幅を広げ、不登校がネガティブなことではなく、積極的不登校(別の居場所がある前提)ということも視野にいれなければ、残念ながら死という悲惨な悲劇は続いていくのかもしれない。重いテーマで聞くことは辛い部分もありましたが、我々生きてる人間の課題なのではないでしょうか。

6月20日 ども若者応援団会議「どのように見せる？精神疾患の開示」

連休の中 14名の参加で活発な議論。小幡さんは学校で障がいをもつ子どもの孤立を危惧。新井さんは自らの病気の開示に暴走？。永野さんは悩みを持つ人への対応を。伊藤さんはボランティア経験から人間皆同じと。高橋さんは家族ゆえ悶々とする思いを受け入れること難しさを。高比良さんは息子に寄り添う姿勢を。秀君は講演会に向けてピアノの練習に。涌井なおゑさんは息子さんとの距離感を、涌井勝義さんは家でのんびり。滝田さんは日本の若者の自己肯定感について紹介。川辺さん(※1面寄稿)は大学での試験勉強に励み。川辺(順子)さんは息子さんの成長を見守り。山本さんは再び教育の世界へ。島根さんは大人の幼稚化を憂い。来月8月9日の研修会に向けての打ち合わせ。9月23日講演会の役割分担。精神疾患をどのように見せるか。障がいのある子の学校での対応。イベントや本の紹介。次回は研修会と9月の講演会の打ち合わせ。是非ご参加下さい。



9月23日(火)(秋分の日)「2020年はみんな(地域)で安心して楽しむ子育てを！」14時～16時総合福祉会館7階で行います。無料です。当日参加歓迎！是非お越しください。

それぞれの風 ※頂きましたメールをそのまま掲載しました。交流ください。(滝田)

- 少し気になる事があるのですが、最近食事の時に本人は無意識だと思いますが首を数回ふったりするのです。咳払いはかなり前から頻繁にしています。精神的なものが関係しているのでしょうか？病院に連れていくべきか迷っていますが、少し様子を見てまたご相談させていただきます。私も声かけを増やして行くようにしていきます。
- やはり、人との関わりはとても大きいですね。感情を出すことの心に与える大きさを感じます。少しずつ自信が持てるようになり、同世代の若者のように友達と笑いあったり、出来る日が来るようになって欲しいと思います。
- △昨日は3週間ぶりに歯科に行きました。悪くなっていて、もっと早く行けばよかったかなと言っていました。今回は本人が行こうかなと言出し、かなり本気になってから予約を取りました。2回連続ですっぽかしていたので、私が電話をして頼みました。しばらく放っておくことができました。一步一步です。
- ◎完璧に逆転生活です。ゲーム以外はなにもせず、このまま時が過ぎていく気がします。いたしかたないのかなあと思ってしまいます。朝、寝る前に何かすることある？と聞かれたけれど、何もありません。

にいひらしずひろ
新平鎮博氏を招いての研修会「自分を見直し個性を大切に」8月9日13時～14時産業交流プラザ第1研修室。当日参加可能なので多数の参加お待ちしております。※別紙チラシをご覧ください。

相談は10時～16時でお願いします。訪問もご相談(土日)研修会産業交流プラザ第一研修室13時～14時。14時～15時(応援団会議)ご参加下さいね。	8月の開設日程(駐車場あります)			
	4日(月)	×休業	18日(木)	×休業
	7日(木)	相談	21日(月)	×休業
	9日(土)	研修会 & 応援団会議	25日(木)	×休業
	11日(木)	×休業	28日(月)	相談
	14日(月)	×休業	※夏休み	休業が多くご容赦ください